

「これからの、エコな車の選び方」講習会を開催します！

～地球温暖化を防ぐドライブのすすめ～

★参加料：無料
★定員：30人

家庭から排出されるCO₂のうち車からが約20%を占めています。環境にも、おさいふにもやさしいドライブには運転のしかたの工夫（エコドライブ）とともに、まず環境に配慮した車自体の選び方が重要になっています。近年の技術の進歩と環境意識の向上により省エネ型の車が人気を集めています。車をご利用の皆様へ最新の情報を提供します。

日時 平成30年 11月10日（土） 13:30～15:30
会場 明日都浜大津ふれあいプラザ4F 視聴覚室（京阪びわ湖浜大津駅徒歩3分）

1

ハイブリッド車

.....

講師：岡部喜代一氏
(滋賀ホンダ)

2

電気自動車

.....

講師：嵯峨根淳一氏
(日産プリンス滋賀)

3

軽自動車

.....

講師：平田誠氏
(滋賀ダイハツ)

大津市地球温暖化防止活動推進センター7月～9月の事業報告

生物多様性保全事業 「夏休み川の学校・大宮川探検」
日時：平成30年7月21日（土）
場所：坂本公民館

猛暑が続いたため、大宮川での水生生物採取は中止、スタッフが準備した生きものを観察しました。でも、川で実際につかまえたかったというご意見が多くありました。

地球温暖化防止事業「子どものエコ料理」
日時：平成30年7月22日（日）
場所：平野公民館

調理する時のエコなポイントを学びながら、茶殻入り豆腐ハンバーグ、鮭の混ぜご飯などを作りました。包丁を持つ手つきもなかなかのものでした！

おおつ市民環境塾2018 講座5「湖の学校」
日時：平成30年8月4日（土）
場所：びわ湖大津館、湖岸

プランクトン班、底生生物班の2班に分かれ、顕微鏡などで観察しました。また、採取場所による生きもの数や種類の違いも学習しました。

おおつ市民環境塾2018 講座6「琵琶湖学習会」
日時：平成30年9月1日（土）
場所：環境学習船 megumi 号、沖島

琵琶湖の南湖と北湖の水質を各自が測定し、水質の違いを実感しました。お昼には沖島で漁協組合長から琵琶湖の漁業の推移と厳しい現実のお話を伺いました。

大津市地球温暖化防止活動推進センター（特定非営利活動法人 おおつ環境フォーラム）
〒520-0047 大津市浜大津 4-1-1 明日都浜大津 4F Tel: 077-526-7545 Fax: 077-526-7581
E-mail: info@otsu.ondanka.net HP: http://otsu.ondanka.net/ 編集責任：森口 行雄

センター通信

No.10

2018年10月10日発行



～琵琶湖の保全・再生に研究を活かす～ 「国立環境研究所琵琶湖分室」を訪ねました

大津市柳が崎にある国立研究開発法人国立環境研究所琵琶湖分室を訪ね、分室長の今井章雄さんから話を伺いました。

★大津市に琵琶湖分室がつけられた目的は何でしょうか

国立環境研究所は、2017年に国の機関を地方に移転する「地方創生」政策の一環として、琵琶湖分室が滋賀県琵琶湖環境科学研究センター内に開設され、国立環境研究所と琵琶湖環境科学研究センターとの「琵琶湖に関する共同研究」をスタートしました。

国立環境研究所は、現在、地方環境研究所とネットワークを組んで、多くの湖沼を対象とした研究を進めています。世界的にも有名な琵琶湖での研究を充実させることで、全国の湖沼への研究成果の展開・活用を目指しています。

★琵琶湖分室ではどのような研究をしておられるのでしょうか

琵琶湖に関して2つの大きな研究テーマをもっています。①健全な水環境保全のための水質・湖底環境の研究、②生態系の評価と管理・再生に関する研究です。琵琶湖の水環境は必ずしも健全な状態にあるとは言えません。また生態系についても改善する手法を見出す必要があります。

★例えば、具体的には…

①でいえば、琵琶湖に出入りする有機物収支の定量的把握や湖底の泥層の酸素要求量（底泥酸素要求量、SOD）を精度良く簡便に測定する手法の開発などです。有機物収支の把握は、湖内における生物の食物連鎖や湖水柱と底泥との相互関係を明らかにすることに他なりません。

SOD 測定は新たな湖沼環境基準である底層溶存酸素（DO）に関する対策の立案に大いに役立ちます。②に関しては、水草の大量繁茂、外来魚の増加などの深刻な生態系の異変が見られ、特に南湖では漁獲量の減少が大きな問題となっています。在来魚の回復に向けた取り組みが求められています。我々は、魚の生息状況を知るために「環境DNA」*1を用いた新しいモニタリング手法の開発に着手しています。この手法を適用して、在来魚の産卵に適したヨシ帯を効果的に保護育成して資源回復に役立てようと考えています。

★日本の湖沼研究の成果を世界に展開

国立環境研究所では、「中栄養湖」*2の琵琶湖の他に、これまでに富栄養湖の霞ヶ浦や貧栄養湖の摩周湖・十和田湖などで多くの研究成果を挙げています。富栄養湖、中栄養湖および貧栄養湖は我が国の湖沼の約90%を占めています。すなわち、これまでの研究成果を全国の湖沼、さらに世界の湖沼の保全・改善のために活用することを展望しています。特に琵琶湖は世界的にも有名な湖であり、その研究成果は国際的に脚光を浴びる可能性がとて高いです。

★温暖化や気候変動が琵琶湖に及ぼす影響をどう考えられますか

琵琶湖を囲む山々に降る雪が少なくなると湖に流れ込む冷たい水の量が減ります。温暖化や気候変動は、琵琶湖の「全循環」*3に大きな影響を及ぼす可能性が高いです。近年、全循環を確認できた月が遅れる（1月が2～3月にずれる）、あるいは確認しにくいという冬がありました。また、雨の降り方が変わることによる影響もあります。また、北湖に比べて容量が小さい南湖は気候の影響を受けやすいと言えます。湖岸地域の都市開発状況や産業構造が異なる北湖と南湖では、気候変動への適応策も別物として分けて考える必要があるでしょう。

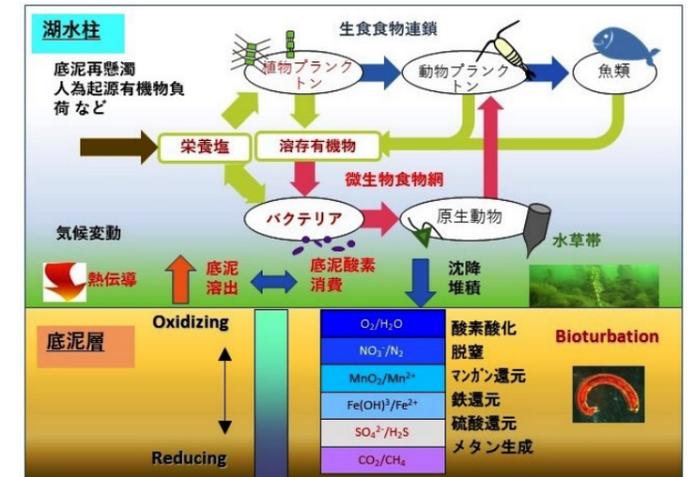


図1 湖沼における物質循環の模式図

北湖と南湖は独立した湖として扱うことが適切だと思います。

★「持続可能な滋賀」という観点からのお考えを教えてください

持続可能性という場合、何を資産として守り引継いでいくのかを考える必要があると思います。琵琶湖の周辺に住み琵琶湖の恩恵を受けている人たちが、琵琶湖をどのようにしていきたいか、という思い・考え方が重要です。景観や水源など自然環境としての湖、漁獲資源としての湖、観光や歴史資源としての湖、それぞれの観点から見た場合、北湖には長期的な持続性があるように思います。

一方、南湖の場合には、水の滞留時間が北湖に比べてとても短いため、現状の持続性を保つことは容易ではない（とても変化しやすい）と思われる。気候変動の影響は喫緊の課題です。琵琶湖の持続可能性を高めるために、琵琶湖に関わる人たちが真剣に考えなければならない時期に来ていると推察します。

※1:「環境DNA」… 水中・土壌中・空気中などの環境中にはそこに生息している生物由来のDNAが存在する。それを総称して環境DNAといい採取分析することで生息する生物に関する情報が得られる。

※2:「中栄養湖」… リンや窒素などの栄養塩類濃度が中程度の湖沼。環境省の自然環境保全基礎調査では、富栄養湖・中栄養湖・貧栄養湖、腐植栄養湖・鉄栄養湖・酸栄養湖の6分類がある。

※3:「琵琶湖の全循環」… 冬の気温低下により表層の湖水が冷やされ、湖底層の水と入れ替わる現象で、酸素が湖底層に供給される。冬季の気温上昇が関係していると考えられる湖底層の溶存酸素量の低下が問題となっている。

大津市環境情報合同交流会を開催します！

市民・企業・環境団体・大学・行政が集まり、環境について情報交換し、「環境と持続可能な経済発展を地域から」、「食品など資源をみんなで活用する社会づくり」、「びわ湖を守り、活かす」、「気候変動防止のための低炭素社会づくり」の4つのテーマについて共に考えます。

日時

平成30年11月3日(土・祝)
12時30分～16時20分

ぜひご参加
ください！

基調講演



「SDGsの視点で
環境を考える」

認定NPO 法人 環境市民
代表 松本 育生 氏

場所

ピアザ淡海 2階 207会議室
(大津市におの浜1-1-20)

環境と持続可能な
経済発展を地域から

食品など資源をみんなで
活用する社会づくり

びわ湖を守り、活かす

気候変動防止のための
低炭素社会づくり

プログラム	
12:30～13:00	パネル展示(見学自由)
13:00～	開会挨拶
13:10～14:10	基調講演
14:10～14:30	パネル展示セッション
14:30～16:15	テーマディスカッション
16:20	挨拶・閉会

テーマディスカッション案内人	
環境と持続可能な 経済発展を地域から	大阪ガス株式会社滋賀地区 副支配人 嶽釜 信一 氏
食品など資源をみんなで 活用する社会づくり	おごと温泉観光協会 副会長 佐藤 祐子 氏
びわ湖を守り、活かす	滋賀県琵琶湖環境部 琵琶湖保全再生課 主幹 清水 宏孝 氏
気候変動防止のため の低炭素社会づくり	大津市環境部環境政策課 主査 岡田 心く子 氏

大津市環境部長 木村一富氏 の言葉 ～持続可能な都市をめざして～

大阪北部地震や平成30年7月豪雨、台風などの災害により被災されました方々に心からお見舞い申し上げます。最近、いつ、どこで、どのような自然災害が起こるのか、これまでの経験則に基づく想定を超える事象が立て続けに起こっています。また、今年の夏はまれに見る猛暑となり、これらの異常気象は地球温暖化に伴う気候変動と関係があるとも言われています。

地球温暖化は、わたくし達が生活の中で、電気やガスを使ったり、自動車を運転したりすることによって、大気中に排出している二酸化炭素などの温室効果ガスが原因となっています。生活の中での節電や省エネ型の機器への買い替えなどは、温室効果ガスの排出を減らすだけでなく、節約にもつながる一石二鳥の取り組みです。また、省エネと併せて、太陽光発電などを設置し、自分の使うエネルギーを自分で作る再生可能エネルギーの取り組みも広がってきているところです。

ただ、これらの省エネルギーや再生可能エネルギーの利用を進め、温暖化の進展を少しでも遅らせる取り組みとともに、温暖化した環境に適應できるように、日々の暮らし方や過ごし方について柔軟に対応できる準備もしておくことが必要となってきています。

本市でも、大津市地球温暖化防止活動推進センターと連携し「エコライフデー」をはじめ、さまざまな講座や広報などを通して、情報の提供に努めているところですが、地球温暖化対策は、ご家庭や事業所での取り組みなしには、達成できるものではありません。ぜひ、持続可能な都市、ひいては持続可能な地球となるために、みなさまのやってみよう！のご協力をお願いします。

「おおつ環境未来人」育成講座を開催します！

平成30年10月27日(土)～平成31年1月26日(土)
【全9講座】

～あなたもぜひ挑戦してみてください～

地域における持続可能な地球温暖化防止対策を行うには未来を担う環境人材の発掘・養成が不可欠です。市民の皆様の中から環境に関心のある人材を発掘する「きっかけ」を設け、専門的な知識(といっても難しい話ではありません)やスキルを体得して、未来にわたって環境課題の解決に貢献する人材を養成します。

No.	開催日	講座名	場所
1	10月27日(土) 13:30～15:30	環境問題概論 『公害問題から地球環境問題へ』	明日都浜大津4F 視聴覚室
2	10月31日(水) 8:30～12:30	エコツーリズム 『気象条件が魚に与える影響』	水産試験場 彦根市八坂
3	11月 3日(土) 13:00～16:20	『大津市環境情報合同交流会』に参加	ピアザ淡海2F 207号室
4	11月17日(土) 13:30～15:30	『地球温暖化防止活動の現状』	明日都浜大津4F 視聴覚室
5	11月24日(土) 10:00～15:00	フィールドワーク 『里山保全と生態系について』	県営春日山公園 周辺
6	12月 1日(土) 13:30～15:30	『4Rで脱炭素社会の実現を』	明日都浜大津4F 視聴覚室
7	12月15日(土) 13:30～15:30	『地球温暖化の影響にどう適應するか』	明日都浜大津4F 視聴覚室
8	1月12日(土) 13:30～15:30	ワークショップ 『今日はわが家のエコライフデー』	明日都浜大津4F 視聴覚室
9	1月26日(土) 13:30～15:30	『SDGsから考える経済と環境のこれから』	明日都浜大津4F 視聴覚室

- * お好きな講座のみ受講できます。
- * 5講座以上受講の方には、「環境未来人認定書」を授与します。
- * 受講は無料です。ただし交通費は自己負担です。
- * 各講座の定員は20名です。

